

## 内原中学校区 学校運営協議会制度に関する研究

学校名 内原中学校

鯉淵小学校 妻里小学校 内原小学校

### 研究主題 地域とともにある学校づくり ～「学校運営協議会制度」の活性化を通して～

#### 1 主題設定の理由

学習指導要領では「よりよい学校教育を通してよりよい社会を創る」という理念を学校と社会が共有し、社会と連携・協働しながら、子供たちに必要な資質・能力を育む「社会に開かれた教育課程」の実現を目指すことが示されている。この理念に基づき、各学校においては、「開かれた学校」から地域と一体となって子供たちを育む「地域とともにある学校」への転換に取り組んでいる。

内原中学校区では、「地域とともにある学校」づくりの推進に向けて、各学校運営協議会と学校、地域との連携を強化し、地域の力を学校教育に生かすとともに、学校と地域が協働で子供たちを育むための体制づくりや取組を進めていきたいと考え、本研究主題を設定した。

#### 2 研究のねらい

- (1) 地域の力を学校教育に生かす体制づくりと実践について、合同学校運営協議会を通して共有し、各学校の取組に生かす。
- (2) 課題を共有し、地域とともに子供たちを育てる体制づくりや実践について、合同学校運営協議会を通して情報交換し、各学区の取組に生かす。

#### 3 具体的な取組内容

##### (1) 地域の力を学校教育に生かすための体制づくりと実践

ア 地域の方と教育活動を協働するための「鯉淵小学校応援団」の立ち上げ

- ① 第1回学校運営協議会で学校の課題を共有する。
  - より効果的な教育活動や体験活動を目指す（授業や行事の補助など）
  - 子供たちのより安全な生活を目指す（登下校・行事等での見守りなど）
  - よりよい環境づくりを目指す（除草作業・花壇等の整備など）
- ② 市民センターと連携し、「鯉淵小学校応援団」を募集する。（地域人材の集約）
  - 鯉淵地区住民の会と連携し、人材確保のための話合いをもつ。（9月8日）
  - チラシ（資料①）や申込書を各自治会へ配付する。（9月27日）申し込みは直接市民センターへ提出、またはGoogle Formsで集約し、学校と市民センターで共有する。随時申込可能とする。

鯉淵小学校応援団登録・R5年度実績								
【地域の方】 21名 + 読み聞かせ「こだまの会」								
【保護者】 6名								
登録者	授業補助			児童見守り		学校行事	環境整備	体験活動等
	家庭科 ミシン	算数 そろばん	その他	下校	行事 (授業参観等)	運動会 鯉淵っ子 まつり	花壇 運動場除草	米づくり
地域の方	3名	4名	音楽・書道 リコーダー プログラミング 合唱・合奏等 4名	鯉淵地区 パトロール 隊	4名	2名	3名	9名
保護者	2名	1名			3名	4名	5名	
実績	・5年 10/27 ・6年 10/30	・4年 3/11 3/13	・4年 ふれあいまつ り合唱指導 10/25	毎日	・学級懇談会 児童見守り 12/1・2/22 ・学校生活の 見守り(10日間)	・鯉淵っ子 まつり準 備 11/7	・花苗植え 2/28	全校児童 ・田植え 5/10 ・稲刈り 9/13

～「地域とともにある学校」として学校と地域が連携し、安全・安心な学校、よりよい教育活動を目指します～  
～地域の方とのふれあいを通じて、地域に愛着をもてる子供たちを育てていきます～

地域の方に御協力いただきたい活動内容

- ◎各教科の授業補助 (算数科(そろばん)による数珠算指導、算数科(そろばん)の学習指導補助など)
- ◎読書の読み聞かせ(通称、読み聞かせ隊、学級読書会等の活動)
- ◎学校行事への支援(運動会や鯉淵っ子まつり、持ち主大会等での準備、後援)
- ◎環境整備への支援(花壇の整備や刈り取り、運動場や校庭掃除等の取組など)
- ◎その他、林縁活動、キャリア教育への支援

鯉淵小学校では、地域とともにある学校づくりに取り組んでおり、様々な課題の解決や必要な子供たちの学びの充実を目指し、地域コミュニティと連携した地域学校協働活動を推進しています。地域の皆様と連携した活動を展開していくため、鯉淵小学校と連携し、個人・団体の「鯉淵小学校応援団」の登録を呼びかけます。登録いただいた方には、鯉淵小学校にて感謝状、具体的に協働させていただきます。

【登録方法】  
「鯉淵小学校の協働」の登録は、QRコードからの登録または、要領の登録用紙を FAX 送信いただくか、鯉淵児童センターへご郵送ください。詳しくは下記までお問い合わせください。

【登録期間】  
令和5年 10月 31日(木) 閉期後の登録につきましては、お問い合わせください。

【問い合わせ先】  
鯉淵小学校 TEL:0291-259-2239 FAX:029-259-2252 高村 啓子(教頭)  
鯉淵児童センター TEL:0291-259-7821 青山 和夫(所長)

募集のチラシ(資料①)



ミシン学習の補助



稲刈りの指導



そろばん学習の補助

イ 「内原っ子お助け隊」の立ち上げ

学校ボランティアを活用し、より効果的で充実した教育活動を行うため、保護者に呼びかけ、「内原っ子お助け隊」として教育活動を協働する取組を行った。



ミシン学習の補助



水泳学習の見守り



除草作業

ウ 「妻里小学校見守り隊」の下校見守り

毎週月曜日は全校一斉下校日として、地域の方が下校時に来校し、それぞれの地区を担当し、子供たちと一緒に通学路を歩き、下校の安全を見守っている。



## エ 内原中学校地域人材の活用

1年生の技術科では、「内原建築組合」の方々を講師に迎え、子供たちの木材加工における技術向上を目的とした授業を実施した。技術指導を通して、自分の技術に誇りをもって働いている方々がいることを肌で感じることができた。

2年生の職業人による出前授業では、水戸市・日立市の美容室に勤務される方をお招きし、「働くこと」についてのお話を聞くほか、ヘアアレンジメントの実技体験を実施した。美容師に求められる技術の高さに悪戦苦闘しつつも、働くことの楽しさも感じられた時間となった。



1年木工教室



2年職業体験会

## (2) 地域とともに子供たちを育てる体制づくりと実践

鯉淵小、妻里小の子供会が休会となり、地域の子供たちが集う機会がなくなってしまうことを課題と捉え、内原地区青少年育成会や各地区の自治会等と連携し、地域の方で子供たちを育てる取組を実施した。

### ア 「子どもの安全を守る家」の看板を探す「ウチハラ GO ウォークラリー」

内原地区青少年育成会が主催し、内原地区内を歩きながら、「子どもの安全を守る家」の看板を探すウォークラリーを実施した。さらに内原地区全戸に「子どもの安全を守る家マップ」を作成して配付した。

### イ 「妻里子ども広場」

住みよい妻里をつくる会によって、以前は子供会で行っていた行事（クリスマス会・卒業を祝う会等）を自治会、PTAが連携して開催し、子供会に代わって健全な仲間づくりに取り組んでいる。

### ウ 作品展示会での地域との交流

「ギャラリーつまさと」「鯉淵ふれあい展示会」では、各市民センターに地域のサークル等の作品と各学校の子供たちの作品を展示し、地域住民の参観を通して交流することができた。

## (3) 合同学校運営協議会代表者会議

ア 第1回 令和5年7月26日（水）

イ 第2回 令和6年3月7日（木）

- ・合同学校運営協議会代表者会議を通して、各校の取組や課題を情報交換し、協議した。地域との連携、人材（資源）確保などについて内原中学校区全体で共有、活用していく。

#### 4 成果（進捗状況と今後の課題）

- ・地域の力（人材）を教育活動に活用することによって、子供たちにとっても教員にとってもより効果的な教育活動を行うことができた。今年度実施した活動を年間計画に位置付け、継続していくとともに、持続可能な活動となるよう、学校の教育活動のニーズと地域人材の活用について調整しながら進める。
- ・学校地域協働活動は、コーディネーターとなる市民センターや住民の会等との連携が重要であり、連絡や打合せ、メールを活用した情報共有によって進められたことが成果につながったと考える。
- ・子供たち生徒が保護者や地域の方と関わる機会が増えることによって、子供たちの地域の一員としての意識や、地域への愛着の心を育むことができた。活動実施後の子供たちの振り返りや地域の方へのあいさつなどに表れている。
- ・学校運営協議会を通して地域とのつながりが広がり、子供会の休会等の課題に地区の青少年育成会や自治会など地域が担う動きがあるなど、地域の子供たちの育成への意識の高まりが見られる。
- ・合同学校運営協議会では、地域学校協働活動以外にも、各校の課題を共有したり、通学路危険箇所への対応や、子供たちの安全確保についても情報交換したりすることができ、様々な視点で協議することができた。
- ・次年度に向けて、他校の取組を参考に、実態に応じた取組を検討している。